

# 「造る」から「防る」へ

いのちのために、46の橋。

阿波しらさぎ大橋(平成24年)



三好橋(昭和2年)



第1吉野川橋りょう(昭和10年)



大川橋(昭和10年)



祖谷口橋(昭和48年)



国見山橋(平成1年)



国政橋(鮎戸橋)(昭和51年)



赤川橋(昭和50年)



第2吉野川橋りょう(昭和10年)



大歩危橋(昭和48年)



三三大橋(平成2年)



美濃田大橋(昭和34年)



吉野川橋(平成11年)



吉野川橋りょう(昭和4年)



三好大橋(昭和33年)



四国中央橋(平成15年)



敷之上橋(昭和49年)



池田大橋(昭和51年)



池田大橋(昭和51年)



穴吹橋(平成3年)



ふれあい橋(平成4年)



脇町潜水橋(昭和30年)



小島橋(平成4年)



美馬中央橋(昭和63年)



美馬橋(昭和33年)



青石橋(昭和58年)



東三好橋(昭和45年)



角の浦大橋(平成16年)



大野島橋(昭和27年)



川島橋(昭和37年)



千田橋(昭和30年)



学島橋(昭和30年)



学北橋(昭和36年)



香美橋(昭和28年)



阿波麻植大橋(昭和56年)



瀬詰大橋(昭和41年)



若津橋(平成5年)



吉野川大橋(昭和47年)



吉野川橋(昭和3年)



吉野川橋りょう(昭和9年)



四国三郎橋(平成10年)



名田橋(昭和38年)



六条大橋(昭和45年)



高瀬橋(昭和29年)



西条大橋(平成16年)



阿波中央橋(昭和28年)

## 吉野川は私たちの心の原風景

愛媛県と高知県の県境にそびえる瓶ヶ森(1,896m)と西黒森(1,861m)の間、白猪谷(シライタニ)の標高約1,200mの地点に、美しい水が湧き出しています。この流れはやがて、山に降る雨を集め、幾多の支流の流れを集め、日本有数の大河となり、流域に暮らす人々ばかりか四国の人々にたくさんの恵みをもたらしながら、紀伊水道まで194kmの旅をします。

私たちの吉野川。川に昇る朝陽、沈む夕陽。橋を行き交う車、潜水橋を渡る自転車、かんどり舟。川に集う水鳥、魚、たくさんの生き物、そして人。ここに生きる私たちにも、ふるさとを離れた人々にとっても、吉野川は大切な心の原風景です。

## 46番目の阿波しらさぎ大橋

その吉野川には、徳島県内で道路橋42(うち自転車歩行者用5、潜水橋8)、鉄道橋4、併せて46の橋が架かっています。いちばん古いものは1927(昭和2)年竣工の三好橋、1989(平成元)年に吊り橋からアーチ橋へ改修され、新たな歴史を刻んでいます。最も新しいのは2012(平成24)年完成、河口に架かる阿波しらさぎ大橋。夜にはLEDに彩られるこの美しい橋はすばらしい眺めと爽やかな海風を楽しむランニングコースとして賑わい、市内の渋滞緩和の役割を果たしながら、もうすっかり市民の暮らしの中にとけ込んでいます。

## 社会資本のライフサイクルをマネジメントする

急速に高齢化する私たちの社会では、高度成長とともに形作られてきたインフラも、歳月を重ね老朽化しています。20年後、2030(平成42)年度には、河川管理施設の約60%、道路橋や港湾岸壁では約53%が更新の時期を迎え、その費用は今後50年間で190兆円に膨らむと国土交通省は試算。特に橋梁の老朽化は深刻です。損傷や劣化のため通行止めや重量制限などの規制を講じた橋は4年前の1.7倍に増加しており、社会資本のライフサイクルマネジメントは、南海トラフの巨大地震に対する「防災」「減災」の観点からも最重要課題の一つです。

## 「ひとを護る」「価値を創る」ストック型社会へ

昨年暮れの中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故を大きな教訓として、トンネル点検補修をすすめることはもちろん、橋梁の落下防止対策、橋脚補強、耐震強化岸壁の整備、河川や海岸の堤防のかさ上げ、水門の整備、避難路の防災点検と改良、そして公共施設の耐震化など、課題は山ほど。限られた財政状況の中で、適切に維持管理することで「長寿命化」を実現し、県民のいのちと、地域の暮らしや経済活動を支える重要な基盤を守らねばなりません。

「ものを築く」から、「ひとを護る」「安全を紡ぐ」「価値を創る」ストック型社会、環境共生社会をめざして。私たちは「防」というキーワードを掲げて、技術革新に挑み続けています。

※写真：岡力工字博士、加賀見次氏、四国建設フェルシト株、坂東武氏、徳島県土木部、徳島県建設業協会は、徳島県上での間で、「大規模災害発生時の支援活動に関する協定」を結び、資材、機材、技術者などの人材の拠出を約束しています。

たったひとりのあなたのために大切なモノがある

社団法人 徳島県建設業協会

770-0931 徳島市富田浜2-10 tel.088-622-3113 <http://www.tokuken.or.jp> e-mail t-info@tokuken.or.jp